魚沼「新之助」生育情報

第４号

令和４年７月１日
魚沼農業普及指導センター
電話：025-792-1309
FAX　：025-792-9006

○茎数急増！生育に合わせた中干しの徹底！
○早い梅雨明け、高温予想！葉色の変化に注意！

○生育調査結果（調査日６月30日）　（　）内は指標比・差

	田植日	草丈（cm）	茎数（本/㎡）	葉数（葉）	葉色（SPAD）
気象感応ほ	5/20	46（102%）	624(106%)	10.2(+0.2)	40.9(+2.9)
ＪＡ展示ほ	5/23	44（98%）	519（88%）	10.5(+0.5)	40.5(+2.5)
２地区平均	5/21	45（100%）	572（97%）	10.4(+0.4)	40.7(+2.7)
指標値	-	45	590	10.0	38.0

【生育の概要】（2地区平均）

指標値に比べて、草丈「並」、茎数「並」、葉数「やや早」、葉色「濃く」ほ場間差が大きい。

【今後の管理のポイント】早い梅雨明け！今後も気温が高くなる予想

１　生育に合わせた中干し程度の調整

(1) 茎数が前回より大幅に増加しているため、中干しを継続して実施する。
(2) 生育量が大きくなっている場合は、田面に小ヒビが入る程度よりもやや強めに中干しを実施し、茎数の増加を抑制する。
(3) 中干しは田面に小ヒビが入る程度で終了し、大ヒビが入らないように留意する。また、遅くとも出穂の１か月前までに終了する。
(4) 中干し後は、根の活力を維持するため、浅水の間断かん水から徐々に飽水管理に移行する。

２　葉色低下への対応

高温や茎数が多く葉色が急激に低下する場合は、中干し終了後、飽水管理で栄養凋落を防ぐ。

３　病害虫防除

(1)いもち病対策

ほ場を観察し、発生状況の把握に努める。育苗箱施用粒剤を施用したほ場でも、葉いもちを発見したら薬剤防除を実施する。また、水面施用粒剤を施用したほ場でも観察を続ける。

(2)斑点米カメムシ対策

農道・畦畔（メヒシバ等）及び、水田内の雑草（ノビエ、イヌホタルイ等）は早めに徹底除去（出穂前に）し、カメムシの生息場所をなくす。

農作業時の熱中症に注意しましょう。こまめな水分と塩分の補給や休憩が大切です。